



市教組第66回定期大会 成功裡に終わる！ 今年度の闘う方針を確立！

5月26日、市教組は第66回市教組定期大会を、港区民ホールで開催しました。

議長に、北部支部の寺谷代議員、西部支部の中島代議員を選出して開会。岡本執行委員長が、成績主義・競争主義の教育政策、分会会議開催のための学校施設使用にかかる訴訟、来る統一地方選ならびに参議院選挙の勝利について挨拶し、市教組への一層の団結を訴えました。

来賓には、石田大阪教組委員長、吉田市労連委員長、尾辻衆議院議員、をはじめ、各組織、団体、共闘関係など多数の方々に列席していただきました。

続いて、松岡書記長より経過報告・18年度運動方針案ならびに当面の闘争方針案、内田副委員長より17年度決算ならびに監査報告、18年度予算案を、一括で提案しました。

質疑応答では、主務教諭制度や新たな人事評価制度、道徳の指導についてや中学校道徳教科書の採択、拉致問題啓発チラシの配付等の質問が出されました。

修正案は4本出されました。南中分会の柳井代議員、美津島中分会の南崎代議員、住吉中分会の多賀代議員からの修正案は、市教組方針をさらに補強する内容であり執行部は趣旨受け入れとしました。瓜破小分会の沼田代議員からの修正案は採決に付し、少数否決しました。討論では、道徳の教科化と中学校の道徳教科書採択、主務教諭制度と新たな人事評価制度、事務職員部課題、女性部の取り組み等について多くの代議員より発言がありました。



提議案を提案する松岡書記長

採決では、修正案を一部受け入れた原案が圧倒的多数の賛成により可決・成立しました。また、新たな人事評価制度の導入に反対する特別決議案、大会宣言案、スローガンについても、圧倒的多数の賛成により承認されました。

市教組は、大会で決定された方針にもとづき、今後も組合員の権利を守り、組合員の要求に応える市教組運動を展開します。引き続き、市教組への結集をお願いします。



団結頑張ろう！

女性部大会開催！！

5月23日、アネックスパル法円坂において「第59回大阪市教組女性部定期大会」を開催しました。修正案が1本出されましたが、執行部は趣旨を受け入れ、原案が圧倒的多数で可決されました。道徳の教科化、主務教諭制度、新たな評価制度など、多くの課題が山積しています。子どもたちだけでなく、教職員にも競争を持ち込もうとする市長、市教委に対し、組合員の連帯を強めていかなければなりません。世界経済フォーラムが17年度に発表した日本のジェンダーギャップ指数は、144か国中114位と16年度の111位よりさらに後退しました。これからも性別役割分業意識に基づいた男性中心社会の解消に向けて、運動を展開していかなければなりません。

今年度も女性部は、市教組本部と連携し、課題解決、組織強化に向けて運動を進めていくことを確認し、大会を終えました。

6月の組合費の引き落としは

6月20日(水)

※口座登録がまだの組合員は

市教組本部まで連絡を！

※市教組組織拡大のため

分会ひとり加入運動を！

広報部メモ

「権限」を「権力」と履き違えた監督・コーチによる部活動運営は、学生にもものを言わさぬ体質を作り出した。現大阪市政による大阪市の教育と教職員の労働条件の改悪に対し、もの言える教職員組織であり続けるために、市教組に結集し、組織強化・拡大を図っていこう。(尾)

事務職員部大会開催!!

市教組事務職員部は、5月12日、なにわのみやホールにて、定期大会を開催しました。冒頭、内田部長の挨拶の後、来賓の岡本市教組執行委員長、岩岸大阪教組事務職員部部長から挨拶がありました。議事では、第1号議案「経過報告・18年度運動方針、当面の闘争方針」について審議され、全会一致で可決・承認されました。また、スローガン・大会宣言等についても、満場一致で承認されました。引き続き、組織強化・拡大を重点課題に位置付け、承認された運動方針に基づき、組合員の生活と権利を守るため、今後も強い事務職員部運動を展開していきます。



西部支部全分会交流会

6月1日、アサヒビアケラー阿倍野店で西部支部全分会交流会を開催し、100人の仲間が参加しました。

20年以上、新歓行事として位置付けている交流会。今年は7人の新組合員と11人の新採用者を迎えました。校内で分会会議ができなくなり、この交流会を一回目の分会会議にしているところも多くありました。



乾杯の後はビール片手に、職場や子どものことで話がはずみます。徐々に会は盛り上がり、執行部の誇るシンガーソングライター高橋秀伸の弾き語りでクライマックスに！抽選会では、支部の用意した景品の他に教職員共済や学生協からも差し入れを頂いて、20の方にささやかな幸せを届けました。

明日からの現場活動・組合運動の活力を充実させる交流会となりました。

沖縄平和行進2018

5月11日から13日に行われた「ピースアクション2018 平和行進（沖縄）」に、青年部を中心に6名が参加しました。12日には摩文仁平和祈念公園を出発し、南風原町役場まで17.4kmの南部戦跡コースを行進しました。行進途中にはお年寄りから子どもまで現地の方々が手を振り声援をくれました。13日には、沖縄平和ネットワークの大田光さんのガイドでアブチラガマと摩文仁平和祈念公園でフィールドワークを行いました。沖縄戦で犠牲となった学徒隊の方や、独自に生存者の方から聞き取りなどを行って調べた一人一人の人物像についても、詳しく教えてくださいました。「平和学習では死者数などといった数字に注目されがちですが、平和の礎に刻まれた約24万の名前には、それぞれ私たちと同じように大切な家族や友人をもち生活をしてきた人生があったのだということを忘れないでほしい。」と大田さん。参加者からは「平和行進を通して学んだことを必ず子どもたちに教え、戦争とは平和とは何かを考えさせていなければいけないという使命感をもった。」といった感想が聞かれました。



あったのだということを忘れないでほしい。」と大田さん。参加者からは「平和行進を通して学んだことを必ず子どもたちに教え、戦争とは平和とは何かを考えさせていなければいけないという使命感をもった。」といった感想が聞かれました。

教職員のための生協活動
すべての教職員のために
すべては教職員のために

生命保険団体扱
(契約保険会社)
◆日本生命 ◆三井生命 ◆住友生命 ◆第一生命 ◆明治安田生命
◆富国生命 ◆朝日生命 ◆メットライフ生命 ◆東京海上日動あんしん生命
◆三井住友海上あいおい生命 ◆アフラック ◆太陽生命
◆損保ジャパン日本興亜ひまわり生命 ◆オリックス生命 ◆マンニライプ生命
◆かんぽ生命 ◆アクサ生命 (準不同)

保険料が、
↓
学生協の団体扱に
変更するだけで...
月額1%~3%も安くなる

!!今すぐお電話を!!

大阪学校生活協同組合
〒537-0003 大阪市東成区神路3丁目4番13号
TEL (06) 6981-3451 (代)
FAX (06) 6981-3457

小黑板

先日、テレビ番組で97歳の男性が短距離走や走り幅跳びに挑戦している姿を見た。その方の他に末期の肺がんでありながらライバルに勝とうと全力で短距離走に挑む90代の男性の姿も。高齢化社会の到来を憂い、老後に不安をもつ若者も多いが、こういった元気なご老人の姿は同世代の年配者だけでなく私たち若者にも未来への希望と勇気を与えてくれる。(マサシ)